

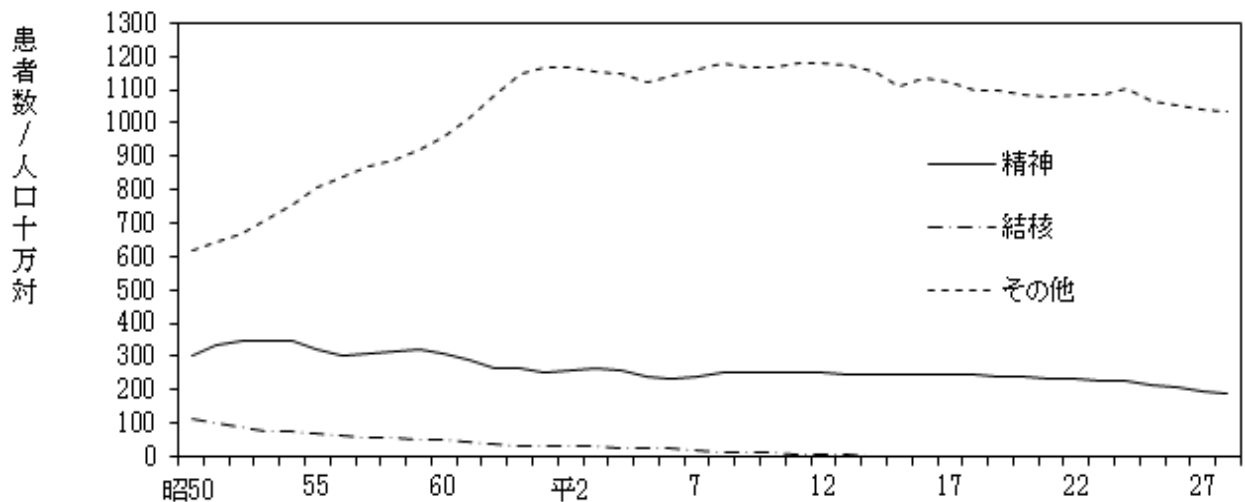
## 病院報告の概況

### (1) 在院患者延数

平成28年中の京都市内の病院における在院患者延数は6,602,393人で、前年に比べ19,449人（0.3%）減少した。年次推移をみると、昭和45年以降増加を続けていた在院患者延数は、平成元年をピークに減少傾向にあり、ここ数年は増減を繰り返している。なお、全国では前年より0.1%の減少となっている（図1）。

病床の種類別では、精神病床が1.8%、その他の病床が0.02%減少した。

図1 一日平均在院患者数(人口10万対)の年次推移



### (2) 新入院・退院患者数

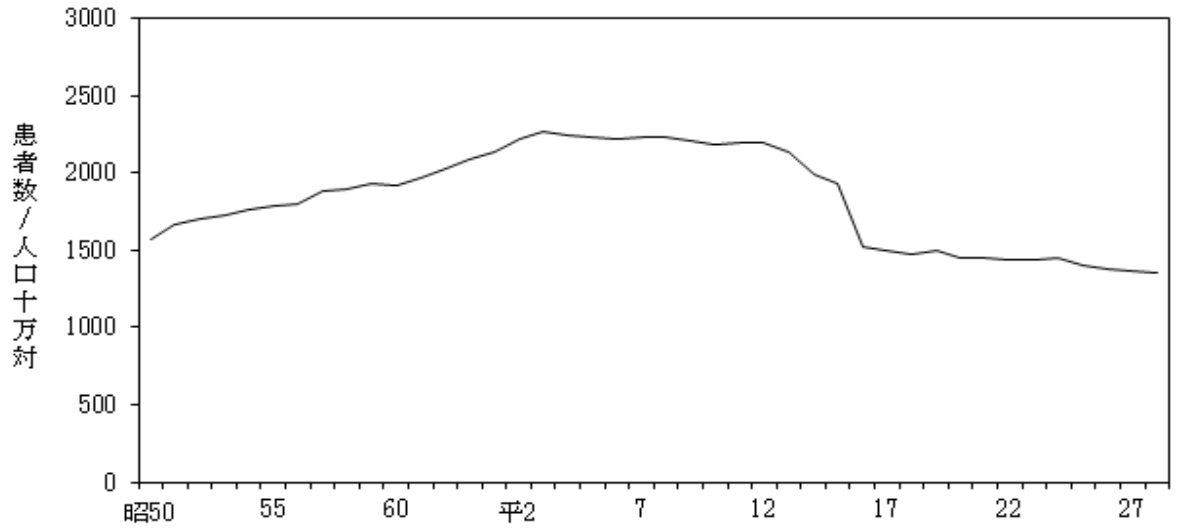
平成28年中の京都市内の病院における新入院患者数は236,185人で、前年より1.9%増加（全国1.8%増加）した。また、退院患者数は236,128人で、前年より1.7%増加（全国1.6%増加）した。

一日平均では、新入院患者数が645人、退院患者数が645人であった。

### (3) 外来患者数

平成27年中の京都市内の病院における外来患者数は7,279,178人（一日平均19,888人）で、前年より0.8%減少（全国0.5%減少）している（図2）。

図2 一日平均外来患者数(人口10万対)の年次推移



(4) 病床利用率

平成28年中の京都市内の病院における病床利用率は78.3%（全国80.1%）で、前年から0.4ポイント減少した（図3）。

病床の種類別では、前年に比べて精神病床は1.5ポイント減少し、結核病床は0.9ポイント減少し、感染症病床は0%で横ばい、その他の病床は0.1ポイント減少した（図4）。

図3 病床利用率の年次推移

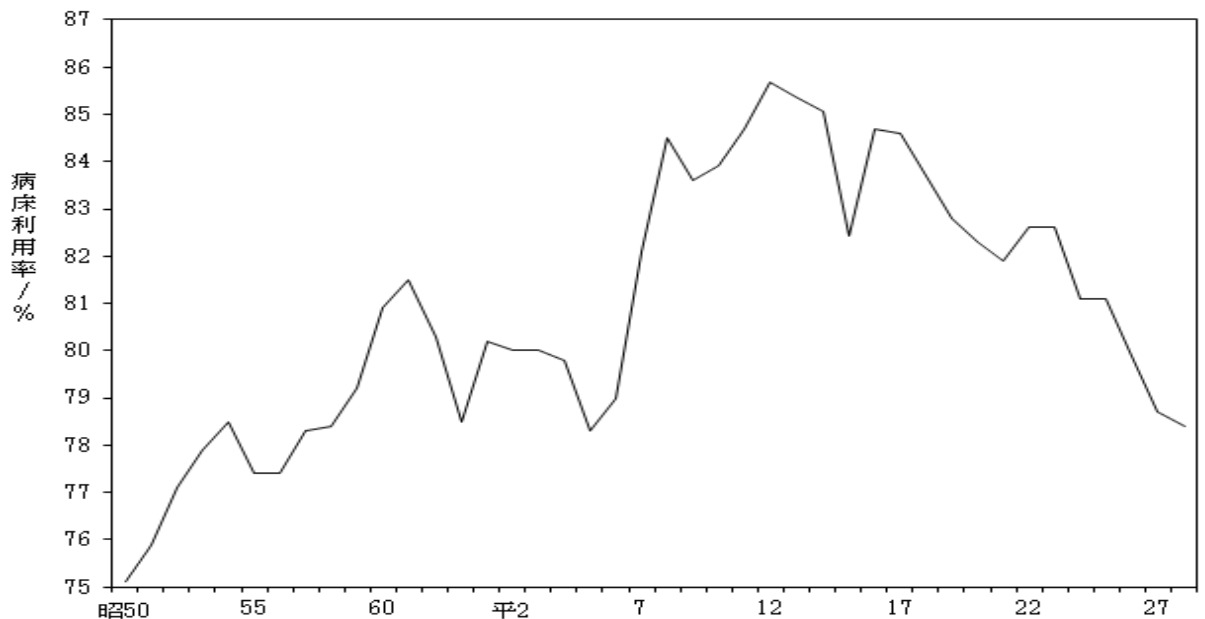
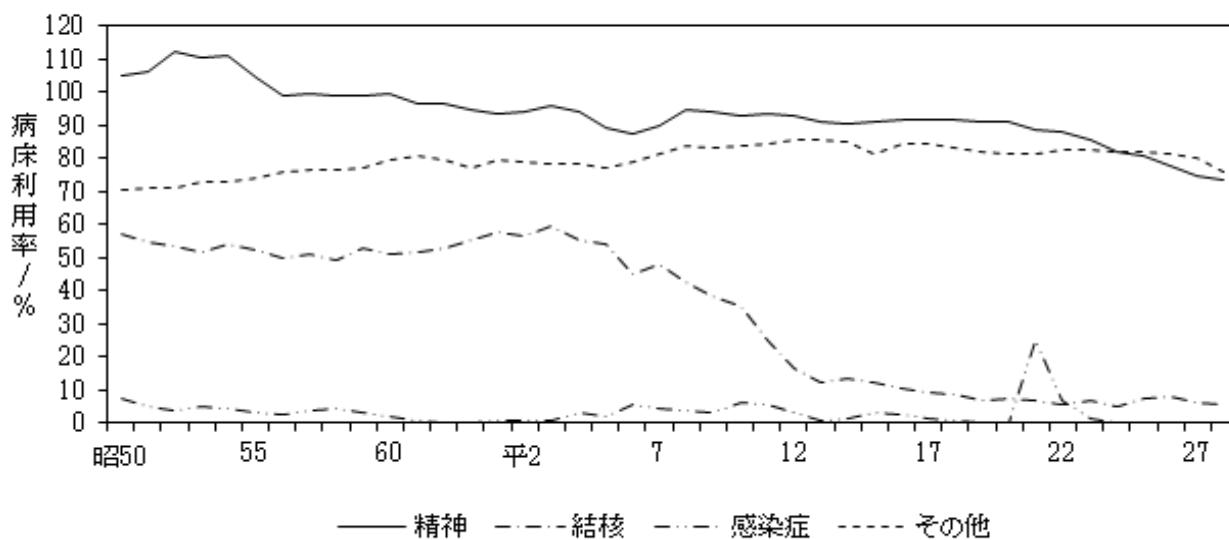


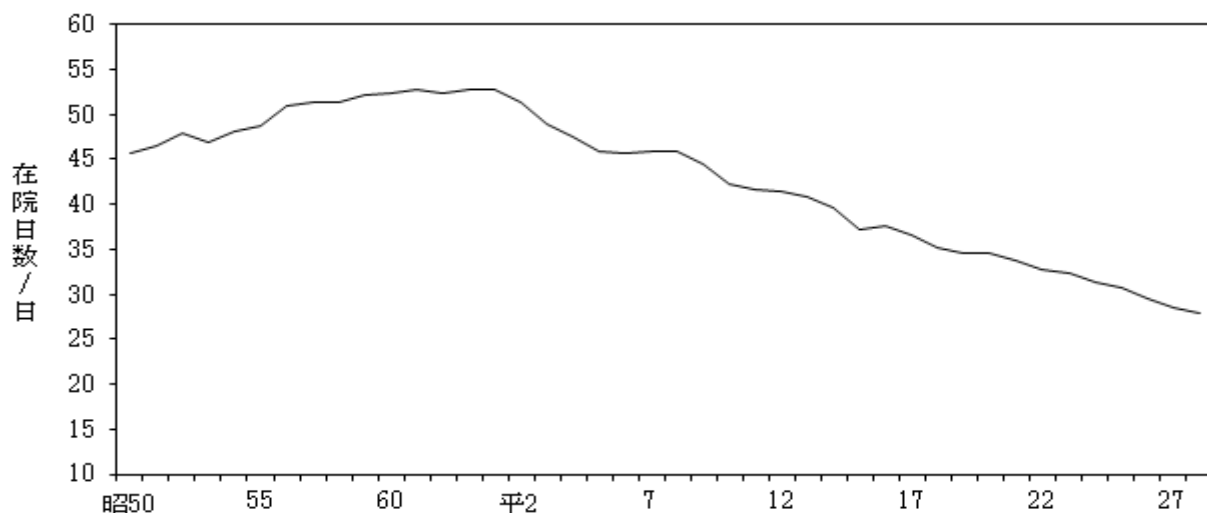
図4 病床種類別病床利用率の年次推移



(5) 平均在院日数

平成28年中の京都市内の病院における平均在院日数は28.0日（全国28.5日）で、前年より0.5日短くなっている。年次推移では、平成元年までは長くなる傾向にあったが、平成2年以降は、平成7年及び平成16年を除いて前年より短くなっている（図5）。

図5 平均在院日数の年次推移



病床の種類別では、精神病床が313.1日（全国269.9日）、結核病床が53.5日（全国66.3日）、感染症病床が0日（全国7.8日）となっている（図6）。

図6 病床種類別平均在院日数の年次推移

